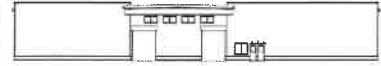


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 真田 京都第二工場 新	階数	地上2F
建設地	京都府京丹後市大宮町森本小字大	構造	S造
用途地域	都市計画区域	平均居住人員	30 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2019年5月1日
敷地面積	16,200 m ²	作成者	株式会社 中村設計 岩田信一
建築面積	2,362 m ²	確認日	2019年5月1日
延床面積	2,523 m ²	確認者	株式会社 中村設計 岩田信一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 85% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 74%

④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 耐用年数の高い建材の使用、節水型機器の使用は資源の有効利用になり、自然換気機能が十分な事務室と広さのあるリフレッシュスペースの計画は作業者の快適な環境につながる		その他 特になし
Q1 室内環境 自然換気有効開口面積が床面積の1/10	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上で十分な空間を確保しており、壁長さ比率が0.1以下で空間の自由を十分に計画している	Q3 室外環境 (敷地内) 空地率: 85.60%
LR1 エネルギー BEIm=0.69	LR2 資源・マテリアル トイレに省水型機器の採用をしており、躯体と仕上げ材が容易に分別可能な建材を使っている	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=74% 適切な駐車スペースを確保している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される